

プログラム

1日目(2018年9月8日:土)

受付開始

9:00

開会のあいさつ

9:40 春原 則子(目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科)

第1部 第16回研修会(9:50-13:00)

司会:若宮 英司(藍野大学、大阪医大 LD センター)

9:50-11:20 発達性ディスレクシアの定義・症状・評価と鑑別

奥村 智人 (大阪医大 LD センター)

11:30-13:00 発達性ディスレクシア児・者の支援

河野 俊寛 (金沢星稜大学)

13:00-14:00 昼休み(事務連絡)

特別講演

司会 : 宇野 彰(筑波大学人間系)

14:00-15:10 **Understanding dyslexia across cultures**

Catherine McBride 教授 (The Chinese University of Hong Kong)

McBride

15:10-15:25 休憩

第2部 第18回研究会

一般演題Ⅰ

15:25-15:55

1. 超多言語地域における英語の地位とディスレクシア研究の認知度に関する考察
片田 房 (早稲田大学)

15:55-16:25

2. 中国語の書字習得に影響する認知能力-中国の小学校3年生を対象として-
区 潔萍 (筑波大学大学院)

16:25-16:35 休憩

一般演題Ⅱ

16:35-17:05

3. 年長児の読みに関する諸能力
～プリント・アウェアネス、Rapid Automatized Naming(RAN) など～
小林 マヤ (上智大学)

17:05-17:35

4. 表出性言語障害から読み書き障害へ移行した1事例の音韻障害の検討
柴 玲子 (島田療育センターはちおうじ)

18:30-

懇親会

2日目(2018年9月9日:日)

受付開始

9:00

一般演題III

9:30-10:00

5. 有色透明フィルムや和文書体が発達性読み書き障害児の音読に与える影響

後藤 多可志 (目白大学)

10:00-10:30

6. 視覚障害や発達障害児者等における読み書きに困難を示す事例の検討

—「手紙を書く」等の活動の継続的な支援の事例の検討と効果的な支援のあり方について—

刀禰 豊 (岡山東支援学校)

10:30-10:40 休憩

一般演題IV

10:40-11:10

7. 幼稚園年長児へのコンピュータアプリケーションを用いたひらがな読み指導の効果

小出 芽以 (筑波大学大学院)

11:10-11:40

8. 英語の綴り習得が困難な生徒に対するゲーム形式の訓練手法の検討

高橋 秀太郎 (島根大学)

11:40-12:40 休憩

12:40-13:00 総会

一般演題V

13:00-13:30

9. 就学時健診を活用したひらがなの読み書きに関する早期発見・早期対応のシステム構築の試み

井坂 美香 (つくば市立九重小学校)

13:30-14:00

10. 漢字書字の一斉指導に関する指導効果の比較検討

-従来の漢字指導法（視覚法） vs. 漢字の形態を音声言語化した指導法（聴覚法） -

岡田 佳奈 (大阪教育大学)

14:00

ご挨拶(中締め) 宇野 彰(筑波大学人間系)

講演会

司会：春原 則子(目白大学)

14:15-15:45 通常学級での読みの指導 英国からの示唆

Taeko N. Wydell 教授 (The Brunel University of London)